【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第１部門第２区分
【発行日】平成27年1月15日(2015.1.15)

【公開番号】特開2013-144025(P2013-144025A)
【公開日】平成25年7月25日(2013.7.25)
【年通号数】公開・登録公報2013-040
【出願番号】特願2012-5526(P2012-5526)
【国際特許分類】
Ａ６１Ｈ　7/00　(2006.01)
【ＦＩ】
Ａ６１Ｈ　7/00　３２２Ｚ
Ａ６１Ｈ　7/00　３２２Ｂ

【手続補正書】
【提出日】平成26年11月19日(2014.11.19)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
座部と背もたれ部とを備えると共に、座部の前側に脚を支持する脚支持部が配設されるマッサージ機において、
前記脚支持部が、前記座部前端部に傾動可能に取付けられる基礎部と、当該基礎部に対し脚長手方向へ移動可能として配設され、脚に接する脚受部と、当該脚受部と一体に配設され、脚の少なくともふくらはぎ部分を側方から挟持して脚の膝から下部分を脚受部上に保持固定する挟持手段と、基礎部に対し脚受部を移動させて脚長手方向位置を調整する第１アクチュエータとを備えてなり、
前記脚支持部を傾動させ、脚支持部の座部に対する傾斜角度を変化させる第２アクチュエータを備え、
脚裏部へのストレッチ施療として、前記挟持手段で被施療者の脚の膝から下部分を脚受部上に保持固定した状態で、前記第２アクチュエータで脚支持部を上向きに傾動させると共に、前記第１アクチュエータで脚受部を脚ごと座部から離れる向きに移動させることを
特徴とするマッサージ機。
【請求項２】
前記請求項１に記載のマッサージ機において、
前記座部が、座面前部の位置を上下動させる座部調整手段を有してなり、
前記脚裏部へのストレッチ施療の際に、前記第２アクチュエータで脚支持部を上向きに傾動させるのと同調して、前記座部の座面前部の位置を上げることを
特徴とするマッサージ機。
【請求項３】
前記請求項１又は２に記載のマッサージ機において、
前記脚支持部の挟持手段が、脚を挟む配置として複数配設されて、所定の給排気手段による空気の給排で膨縮動作するエアセルであり、脚に対するマッサージ用の施療機構を兼ね、
前記脚裏部へのストレッチ施療の際に、前記挟持手段が空気供給で膨張して被施療者の脚のふくらはぎ部分を両側方から押圧して挟持することを
特徴とするマッサージ機。

【請求項４】
前記請求項１ないし３のいずれかに記載のマッサージ機において、
前記第２アクチュエータが、座部の下側に配設され、所定範囲内で伸縮して長さを変化させる機構を有してなり、一端部の位置を固定状態とされる一方、他端部が脚支持部の裏面側に当接可能とされ、伸縮による他端部の位置変化に伴って、脚支持部を傾動させ、
前記座部が、前端部における脚支持部の基礎部の傾動中心位置を上下動させる位置調整手段を有してなり、
前記脚裏部へのストレッチ施療の際に、前記基礎部の傾動中心位置を上げることを
特徴とするマッサージ機。